とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年9月下旬～10月
クラス名（年齢）	ばら組（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

冬野菜を育てよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・夏野菜の収穫が終わり、プランターが空いた時に「今度何植える？」「お花？」「なんかの種？」と子ども達が話していた。

2、活動スケジュール

・９月中旬に子ども達と土を入れ野菜の種を植える
・天候や野菜の様子などを見ながら当番が順番に水やりをする

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・冬野菜の種（人参、大根、ラディッシュ）
・プランター　・土　・シャベル

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・夏野菜の栽培をした時は苗からだったので今回は種から育てて、種からどの様に芽が出たり葉が変化していくのか観察し、出来たら収穫し味わう

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
「夏野菜の時にやったからすぐにできるよ」 「いっぱい入れるんだよね」 「パンパンしていいんだっけ？」 「種ってすごい小さいね」 と夏野菜の時を思い出しながら友達同士でも話し土を入れ、種を植える。 当番が順番に水やりをする。 「（水を）入れすぎちゃだめだよ」 「小さい芽が出てきたよ」 「人参の葉っぱの形がふたつある！」 など、毎日観察していると生長や違いをすぐに見つけて友達や保育者に教えていた。 「ラディッシュ、丸いのが見えるから採っても平気じゃない？」と気づいた子どもが記念すべきひとつ目を収穫した。 「赤い！」「小さいね」「かわいい」など見ていた友達も嬉しそうだった。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・夏野菜の時は苗から育て、枝や葉があるので花や実を楽しみにしていたが、今回は小さな種から育てるのでどうなるのか心配そうな表情の子どももいた。しかし芽が出てくると「よかった～」と安心と喜びの表情になり、そこからさらに興味を持って観察するようになった。実際に種から生長する過程を約１ヶ月間で見ることができ（収穫はこれから本番だが）夏野菜とは違う冬野菜の生長、季節の違い、苗と種の違いなども見て触れることができた。